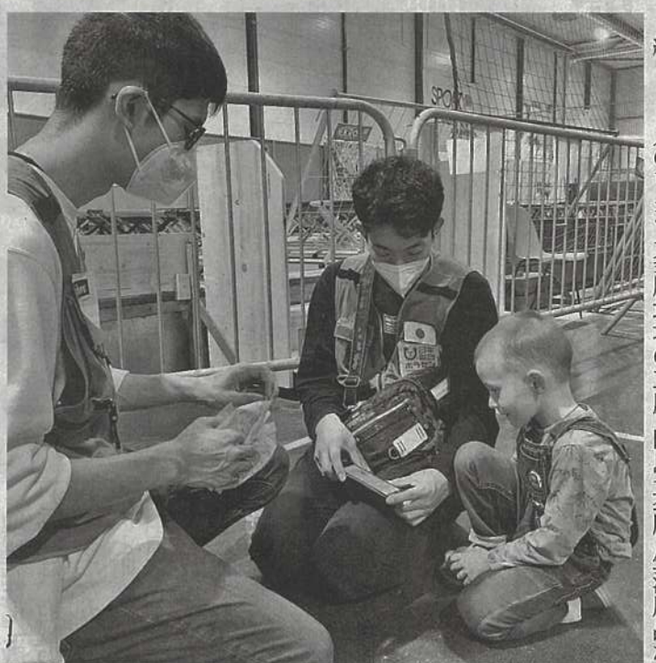
ウクライナ避難民の就業支援へ

昭島で実行委員会発足

「東京昭島ロータリークラブ」（三田忠会長、会員52人）や環境団体「とらんじしょん昭島」（植松一良、大嶽貴恵共同代表）らが「ウクライナ人の国内での就業支援をしよう」と、「昭島ウクライナ避難民支援実行委員会」（植松一良委員長）を立ち上げ、就業への足掛かりとなる日本語習得などに必要な資金確保を目指し活動を始めた。（日吉史典、写真・日本財団提供）

東京都では都営住宅に幼児から高齢者まで主に女性、子ども182組312人のウクライナ人を受け入れており、そのうち区部には140組約240人、多摩地域の三鷹、昭島市には42組約70人（11月15日現在・都営住宅経営部調べ）が居住している。避難民には日本財団（港区、笹川陽平会長）から支援金、昭島市居住世帯にはあきしまウクライナ友好協会（雨倉寿久代表）とフードバンク昭島（軸丸里奈代表）や市社会福祉協議会が協力し食材や衣服、生活用品などを提供している。


ウクライナの子どもと遊ぶ冨山さん

ロシアの武力侵攻は止まず帰国の目途も立たない現状から、ウクライナ避難民も就業の道を模索し始めたものの、言葉の違いが壁となり就業も難しいことから、経営者の多いロータリークラブの国際部会が就業を目的とした日本語学習支援を推進することになった。実際の活動部隊としてロータリーやとらんじしょんメンバーで構成する実行委員会をスタートさせ、当面の活動資金として日本財団から来年3月までの助成金100万円を確保した。

日本語学習にはロータリーメンバーでもある畢煜（ビ・リー）さんが理事長を務める新日本学院（中島崇校長、福生市）が協力。「まず3か月で簡単な基礎会話やコミュニケーション力などを身に付け、医療機関の受付や介護のアルバイトで自立できるように」と畢さん。実行委は学費などに充当する資金確保やさまざまな事務管理費が必要となり広く浄財を募るほかウクライナの人たちが楽しめるコンサートやイベントへの協賛も視野に入れる。「日本での思い出づくりをして帰国してほしい」と植松さんは言う。

こうした活動にあきる野市在住の中央大の学生、冨山陽平さん（22）が参加。日本財団のウクライナ支援ボランティアプログラムで10月にポーランドとオーストリアへ20日間行った。現地では避難民用施設で炊き出しや配膳、子どもたちの遊び相手をしたり。避難してきた人、ウクライナに帰る人の大きな荷物を運ぶのを手伝う中でウクライナで起きているロシアの残虐行為を聞き「戦争を感じた」という。「2国での支援活動の経験を活かして資金活動をサポートしていきたい」。国際的に働きたいという冨山さんは来年、カナダへ留学を予定しているが「ネットを活用するなどして全力で支援する」と目を輝かせる。

問い合わせは同事務局（中神町1260）・小川真一さん（akishima.ukraine.dps@gmail.com）へ。

多摩都市モノレール延伸
2030年代半ばの開業へ
都議会一般質問

多摩都市モノレールの箱根ケ崎方面への延伸について都議会第4回定例会の一般質問で8日、谷村孝彦氏（公明党）が「自立した多摩地域を構築する上で、欠かせない交通インフラ」とし、今後の取り組みと開業時期の見通しを質問。小池百合子都知事は「2030年代半ばの開業を目指す」と明らかにした。

都は10月、上北台（東大和市）～箱根ケ崎（瑞穂町）間（約7キロ）に7駅を新設する都市計画の素案をまとめ、関係2市1町（武蔵村山・東大和市、瑞穂町）で住民説明会を開催した。素案の示す延伸ルートによると、都内の区市で唯一鉄道駅がない武蔵村山市に少なくとも4つの駅ができることから、地元住民からは早期開業を求める声が上がっていた。

都都市整備局による、環境アセスメント（環境影響評価）調査計画書を10月26日に提出。住民説明会、環境アセスメントが進む中で、工事にかかる年数が見えてきたことから明らかにしたとし、順調に行けば着工は3～4年後、開業は2030年代半ばになる見通しという。小池知事は「箱根ケ崎方面への延伸を実現することで都内で唯一鉄道のない町の利便性が飛躍的に向上する。引き続き、多摩地域における公共交通ネットワークの充実を図っていく」と述べた。

同モノレールの早期延伸を求める「モノレールを呼ぼう瑞穂の会」の小峰安房会長（70）は「ようやく来るのかという思い。開業まで10年以上、高齢者の方たちは生きているうちに来てほしいと切

法人化50周年祝う
瑞穂町社協　地域と生活課題に注力

西多摩新聞
発行所
株式会社 西多摩新聞社
福生市本町33番地
〒197-0022
電　話042・552・3737（代）
FAX042・552・3778
毎週金曜日発行
年間購読料　10,056円（税込み）
半年　5,028円（税込み）

職員ブログ
「地域密着ストーリー」
配信中！
SEIBU
西武信用金庫

市市市野市町町村ほか
梅生村穂出摩原市
青福羽あきる瑞日奥檜昭島

購読・チケット・広告のお問い合わせは
0120 61-3737
月曜～金曜
午前9時～午後5時
情報提供・その他
一般代表
042-552-3737
ご意見・ご要望は
Eメール
info@nishitama-shinbun.co.jp
ホームページ
http://www.nishitama-shinbun.co.jp